

大目標・ビジョン

「クリーンで経済的な

日本の内燃機関技術を世界へ発信」

技術的目標

- ◆革新的な制御技術を生み出し、走り方によらず内燃機関の最大熱効率を50%に高める要素技術を研究。5年で検証
- ◆内燃機関から発生するCO₂を30%削減(2011年比)するための基盤技術として、順次、社会に提供 2018年～

日本に走っている乗用車に使用すれば
森林(杉)24億本以上に相当
(おおよそ100km四方)

日本の総CO₂排出量の
約4%に相当
自動車の切り替わり期間があり、
2030～2040年の頃のイメージ

参考資料
JAMAデータ